

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	議会管理運営事務	会計	一般会計	事業No.	840	施策順No.	91-006
		事業種別	政策・その他	予算科目	1-1-1-10-1		
政策	9 市民と共に進める行政経営			課等名	議会事務局		
施策	91 市民参画による協働の促進			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	議会							A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	議会	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		議会		1	1	1	1	1	
		議員		29	29	23	23	23	
意図	円滑に運営できる								
対象をどう変えるか		事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		議会運営に対する市民等からの改善提言数 (人)	2	2	2	2	2	2	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	市民からの提言が活かされる議会運営となるよう自治基本条例の検証を始め議会改革を進める。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	議会の一般経常経費を総称的に包含する事務事業。主な内容は次のとおりであるが、議場や会派室等の管理や本会議、全員協議会等の運営等を含む。 (1)議事録作成及び会議録検索システムの運営や議会中継の実施、議会報告会等で、より開かれた議会運営を進める。 (2)他の行政活動に関する他市町村議会の視察を積極的に受け入れることにより、総体的な飯田市の情報発信に努める。 (3)事務局では、常任委員会・特別委員会・検討委員会等の活動支援や議員研修会等を行い、円滑な議会運営の支援をする。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	①議事録作成(本会議・常任委員会・特別委員会・全員協議会・議会運営委員会) ②議会中継の実施(生放送・再放送・再々放送の実施) ③会議録検索システムの運営 ④市民との課題共有のための講演会や議会報告会等の開催 ⑤地方分権時代の地方議会のあり方に関する議員研修会の実施 ⑥他市町村議会からの視察の受け入れ	①定例会回数 臨時回数 全員協議会回数 ②中継日数 ③会議録ページ数 ④議会報告会日数 ⑤研修回数 ⑥視察受け入れ件数	① 4回 1回 8回 ② 18日 ③4242頁 ④ 6回 ⑤ 2回 ⑥ 53件
23年度実施計画	①議事録作成(本会議・常任委員会・特別委員会・全員協議会・議会運営委員会) ②議会中継の実施(生放送・再放送・再々放送の実施) ③会議録検索システムの運営 ④市民との課題共有のための講演会や議会報告会等の開催 ⑤地方分権時代の地方議会のあり方に関する議員研修会の実施 ⑥他市町村議会からの視察の受け入れ	①定例会回数 臨時回数 全員協議会回数 ②中継日数 ③会議録ページ数 ④議会報告会日数 ⑤研修回数 ⑥視察受け入れ件数	

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)			特定財源内訳、補足事項
		22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	
	国庫支出金				
	県支出金				
	起債				
	その他				
	一般財源	12,253	11,208	11,754	
	計 (A)	12,253	11,208	11,754	
	正規職員所要時間				
	臨時職員等所要時間				
	人件費計 (B)		0		
	トータルコスト A+B		11,208		

4 事業に対する市民や議会の意見

議会報告会において、議会や常任委員会等の議員活動が見えにくいとの意見等がある。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市役所・市民が協働したまちづくりを進める	施策の成果指標又はムトス指標	協働のまちづくりが進められていると感じている市民の割合 投票率 イ)市議選:64.33%(平成21年4月19日執行)
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	・議会の円滑な開催と、法令に基づく会議録の整備及び情報公開に努めた。		
	後期に向けた課題	・議会活動への理解を深める上で議会の活動を広報すると共に、傍聴者数増加への取り組みが必要である。		
この事務事業の成果を向上させるためにどの ような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	・議会報告会を開催し、議会活動の説明と意見聴取の機会を設定した。		
	後期に向けた課題	・議会への関心を深める方法の検討。		
コストを削減するためにどの ような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	・議員研修会の効果的な開催と、会議資料の効率的な作成により経費節減に努めた。 ・定数を29名(合併特例2名を含む)から23名とした。		
	後期に向けた課題	・会議資料の抑制など引き続き経費節減に努める必要がある。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・議会の設置は法の定めによるものであり、市の関与は当然である。		
	後期に向けた課題	・特になし		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮して きましたか	4年間の振り返り	・議会活動の主体は議員であり、議会の役割を果たすため行政評価、議会報告会及び自治基本条例の検証などに取り組んだ。議会活動に対し、執行部の協力が得られた。		
	後期に向けた課題	・条例検証の中で議会の役割を再検証する必要がある。		
全体を通じて	4年間の振り返り	・議会報告会の開催や行政評価による事業評価など先進的な活動に取り組んだ。 ・自治基本条例(第6章議会部分)の検証に着手した。		
	後期に向けた課題	・自治基本条例の検証を足掛かりとして、議会改革に取り組んでいく必要がある。 ・議会への関心を高めていくために、小中学校の児童生徒への傍聴及び勉強の機会を働きかけていく。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--